

全国戦没者追悼式

〜2年ぶりに参列〜

終戦から79年目を迎えた八月十五日、日本武道館で政府主催の全国戦没者追悼式が挙行され、岡山県からは県連盟の大月健一理事長をはじめ、遺族代表60名が参列しました。



(岡山県参列遺族席の様子)

献花は、岡山県参列者中で最高齢の服部晃一(89歳)さんが行いました。

県連盟合同研修会を開催

県連盟は岡山県の補助を受けて、令和6年度合同研修会を5月28日(火)から2日間山口方面で三宅副理事長をはじめ31名が参加して実施しました。

初日は、人間魚雷「回天」の訓練基地と発射基地のあった周南市大津島に渡り、隊員の遺影や遺品などを展示する「回天記念館」や訓練基地跡を見学。

翌29日(水)は、山口縣護國神社の正式参拝、続いて本県出身の画聖・雪舟ゆかりの常栄寺「雪舟庭」等を見学し、帰路につきました。



(山口縣護國神社にて記念撮影)

戦没者遺族慰霊研修事業

靖國神社みたままつりへ

県連盟は7月16日(火)から17日(水)にかけて、靖國神社のみたままつりにあわせ、岡山県の補助を受け令和6年度戦没者遺族慰霊研修事業を実施しました。参加者51名は、初日に靖國神社及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑の集団参拝を行いました。



(靖國神社にて記念撮影)

翌17日は、九段会館テラスの日本遺族会会議室にて、元海上幕僚長で、英霊にこたえる会会

長の古庄幸一氏を講師に迎え、英霊顕彰等について講演を受けました。講演後、遺骨収集等の質問が相次ぎ、実りある研修会となりました。

続いて、隣接する昭和館を見学して2日間の研修を終え帰郷しました。

戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定申請のご案内

厚生労働省では、DNA鑑定により戦没者のご遺骨の身元を特定してご遺族へ返還する事業を行っております。

■対象地域 硫黄島、インド、インドネシア、沖縄、樺太、旧ソ連等(旧ソ連、モンゴル)、タイ、中部太平洋地域(ウエーク島、ギルバート諸島、ツバル、トラック諸島、パラオ諸島、マーシャル諸島、マリアナ諸島、メレヨン島)、東部ニューギニア、ノモンハン、ビスマーク・ソロモン諸島、フィリピン、ミャンマー

■申請できる方、申請方法、費用など、詳しくは、厚生労働省社会・援護局事業課 戦没者遺骨鑑定推進室(直通電話…03-3595-2219)へお問い合わせ下さい。